

環境調査事業”シナダレスズメガヤ駆除とカワラノギク育成” (15)

神川橋下の河川敷で30数年ぶりにカワラノギクが復活しました

2011年10月10日(月)～10月23日(日) 報告 記:中門

1) 10/4(火) 神沢河原の開花情報が小西さんから届き、18日遅れて10/21(木) 神川橋下でも30数年ぶりにカワラノギクが開花しました。

2) 10/23(日) 時点の開花状況です。 ①開花した花:25輪、花のついた株:20株 ②花芽のある株:270株 ③ロゼット:600株以上(来年につながります)

【園場の柵とトラロープの再設置】

・台風15号で跡形もなく流され、簡易柵を作って園場を守っていましたが、行政の方が再設置してくれました。



【可憐な花が10/21に開花】

・1979年10月26日寒川で採取したものが平塚市博物館に標本データとしてある。30数年ぶりに寒川の河川敷に復活の第一歩を踏み出しました。



【まばゆく輝くカワラノギクの花】

・精一杯に花びらを開いています。一年目に早く咲いたので株は小さく、茎も細く心配です。



【倒れた株からも花芽】

・台風15号の激流と3日間に及ぶ冠水で株は横倒しになり、倒れた株が頭を持ち上げて花芽をつけています。



【花と花芽をつけた株-(1)】

・背丈も低く花芽も少ないが全体の約3割程度は花芽をつけています。…その数は270株です。



【花と花芽をつけた株-(2)】

・真っ直ぐに上に伸びた株も数本みられ、根元にまだ多くのロゼットが残っています。



【花と花芽をつけた株-(3)】

・園場の中で一番背丈の高い株です。高さは68cmあります。・他の場所に比べると比較にならないほどの高さですが…



【来年への架け橋ロゼット】

・ロゼットの数も思った以上に残っています。…その数は600株以上です。

